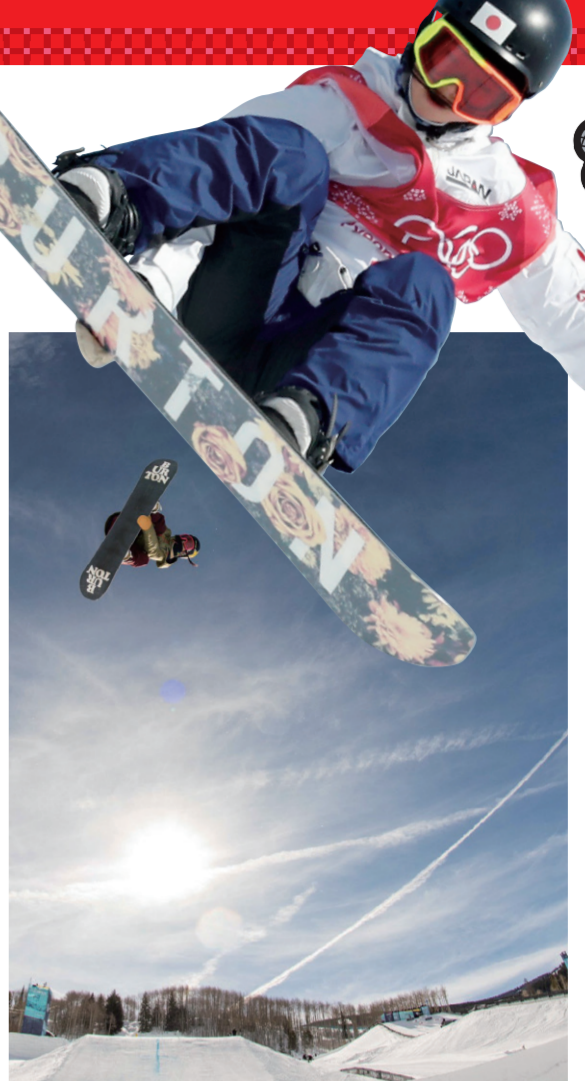




# 未来の選手たちのためにも、北京オリンピックでのメダル獲得に挑む

岩淵麗菜選手 スノーボード2018年平昌オリンピック4位入賞



## 家族の支えがあるから、夢中になれる

スノーボードで大きなジャンプをしながら技を競う「ビッグエア」という種目で、2018年の平昌オリンピックに16才で出場し、4位入賞した岩淵選手。小学2年生の時にスノーボードショップのお兄さんに誘われたのが、このスポーツを始めたきっかけでした。宙に長く浮いている感覚が気持ち良くて滑って、飛んで、どんどん夢中になっていったそうです。

## 頑張ってるねと、競い合う相手と励ましあう

大会では自分の順番が来るまで選手は待機していますが、その際に選手同士で励まし合うことがよくあるそうです。「大会だからといってギスギスした雰囲気はなく、滑る前

「雪の降らない季節も、毎週土日は練習のできる遠くの施設まで連れて行ってくれるなど、私をサポートしてくれています。本当に感謝しています」。どんなスポーツにおいても、みんなが練習や試合をできるのは、家族や周りの人たちの支えがあるからこそだと、岩淵選手の話を聞いてあらためて感じました。

には頑張ってるねと声をかけてもらいますね。日本の選手からも外国の選手からも。私も自然に声をかけています。競い合う相手ではありませんが、この競技を好きな仲間として、みんながうまくできたらいいな、という思いがあるから、そんな雰囲気になるのかもしれないね。」



「フェアプレイ宣言」しました!!

モーグルはデコボコの斜面を滑りながら途中で2回ジャンプし、回転するなどの技(エア演技)を行います。この他に、滑りのうまさ(ターン技術)とスピードを加えた3つのポイントで採点されます。



デコボコの急斜面を滑るスキー「モーグル」は採点によって順位が決まります。次のうちで採点されるものはどれでしょう

- A ジャンプした時の技
- B ジャンプした時の距離
- C ジャンプした時の高さ

スポーツものしりクイズ

# 全力を尽くしたから得られたもの

〈女子モーグル元日本代表〉  
上村愛子さん

とても清々しい気持ち達成感マックスです!!



女子モーグル 日本代表 上村愛子選手

これは2014年ソチオリンピックのレース直後に発した言葉だ



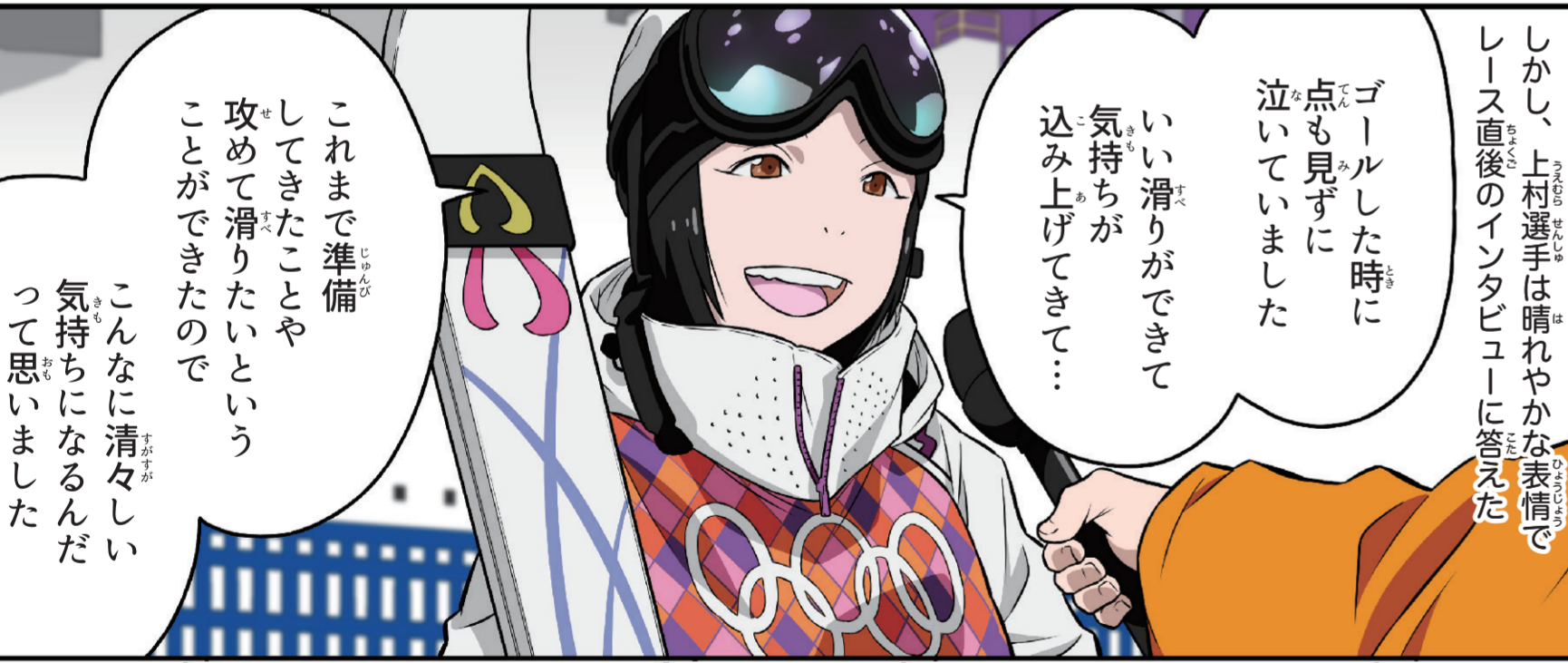
それまで4回連続でオリンピックに出場してきた上村選手

7・6・5・4位と順位を上げながらもメダルには届かなかった

そして「最後の最後」と意気込んだ5回目のオリンピック



結果は4位メダルには、またもわずかに届かなかった



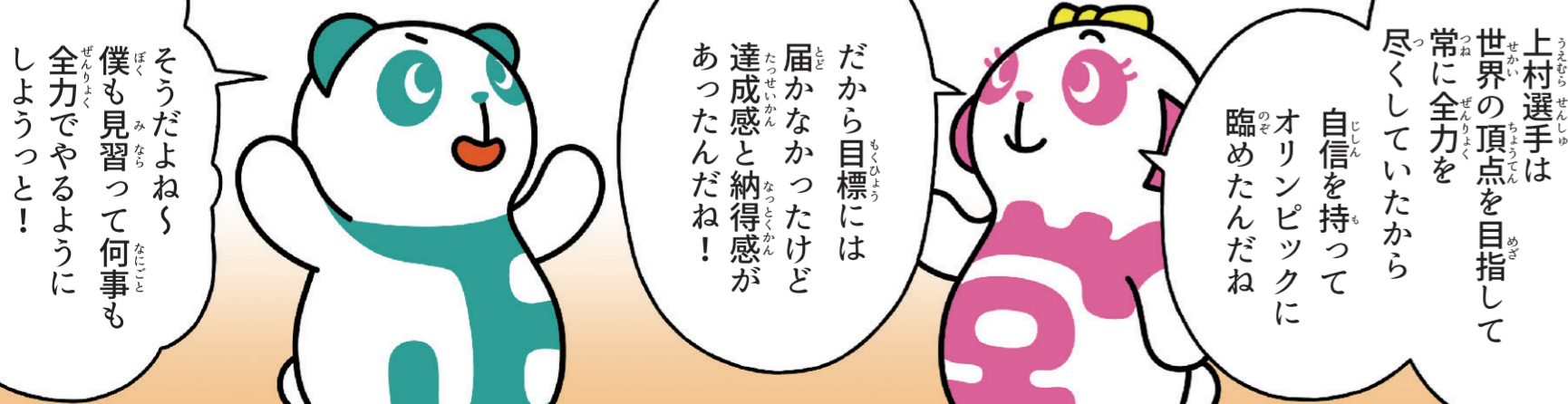
しかし、上村選手は晴れやかな表情でレース直後のインタビューに答えた

ゴールした時に点も見ずに泣いていました

いい滑りができて気持ちが入り込んできいてきて...

これまで準備してきたことや攻めて滑りたいということができたので

こんなに清々しい気持ちになりました



上村選手は世界の頂点を目指して常に全力を尽くしていたから自信を持ってオリンピックに臨めたんだね

だから目標には届かなかったけど達成感と納得感があつたんだね!

そうだよ、僕も見習って何事も全力でやるようにしようっ!



冬のオリンピックでの感動シーンには、フェアプレーの気持ちがあふれていたよ!!



フェアプレイストーリー